

事業所名	ディスカバリークラフト	支援プログラム	作成日	2025 年 3 月 7 日
法人（事業所）理念	ひとりひとりが陽の当たるステージを獲得するために、好き・得意を伸ばし、自信と自立につなげる。 幼児から大人まで一貫した本人主体の支援を行う。			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・本人を受け容れるとともに、「今できること」「もう少ししたらできること」を分析し、スモールステップで自立へ向けた土台づくりの支援をする。 ・本人を中心に保護者や地域関係機関と相談しながら支援をおこなう。 ・季節や自然の中で開放的に過ごす野外活動をおこなう。 			
営業時間	9 時 30 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支援内容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・入室時の手洗い、荷物の整理整頓、身辺の清潔、排泄、衣服の着脱などを、声かけや視覚ツールで示しながら基本的な生活習慣スキルが身につくように支援する。 ・クッキングプログラムを通して、食への興味関心を促し、苦手なものへのチャレンジや偏食の克服など食育に繋げる。 ・公園遊びや野外活動プログラムを通して、屋外で思い切り体を動かす。 ・不規則な生活を送るお子さまに対して、健康的な日常生活や余暇の過ごし方をアドバイスする。 ・使ったものを適切に片付けられるように、プログラム開始の切り替え時やプログラム後に、声かけや動作で示しながら促す。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団プログラムや自由時間での運動遊びを通して、ボディイメージや手足の力のバランス、リズム感覚などを獲得する。 ・アートプログラムでは、季節を感じるもの（植物や野菜）や、パステルや絵具など様々な画材を使い、視覚や感覚を楽しみ、自己表現へつなげる。 ・アートやクラフトプログラムを通して、「切る、貼る、丸める」などの指先を使った生活動作を取り入れ、指先の巧緻性や微細運動の向上を支援する。 ・個々の感覚特性に応じ、机の配置を工夫したり、イヤーマフやパーテーション、リラクスペースなどを利用し、安心して過ごせるような環境設定をする。 ・ビジョントレーニングとなる、楽しめる迷路や点つなぎや色合わせ等の机上のワークをとり入れる。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援では、発達段階や興味の持ち方に合わせた知育教材を用い、色、大きさ、形などの抽象的概念や、数の概念を身につけられるようサポートする。 ・スケジュールや作品づくりの工程表は、本人に伝わりやすい方法（音楽や絵、スケジュールボード、イラスト、写真、声かけ、文字）で提示し行動へつなげる。 ・小学低学年向けSSTプログラムで行うアナログゲーム等を通して、やり方やルールの提示への理解を促し行動へ繋げられるようサポートする。 		
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの思いや要求を主体的に発信できるよう、視覚的にホワイトボードでやりとりしたり、さまざまなおもちゃや道具の入れ物に中身を提示し、指差しでも要求表示できるように環境設定をする。 ・小学低学年向けSSTプログラムでは、アナログゲーム等を通して、自分の意見を伝えたり、相手の意見を尊重したり、折り合いを付けられるような練習をする。 ・アートやクラフトプログラムでは、グループの中で、道具の貸し借り、わからないところを尋ねられるかなどの視点を持ち、成功体験ができるようサポートする。 ・個別プログラムやSSTプログラムでは、感情ワークをとりいれ、（自身や相手の）気持ちや言葉、ジェスチャーや表情、視覚的に表示された情報などから意味を理解できるようにサポートを積み重ねる。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・e-sportsプログラムや少集団遊びでは、共通のルールのもと、待つ、我慢する、切り替えるなど、気持ちのコントロールを身につけながら、集団で好きなことを楽しむ喜びを味わう。 ・クールダウンの方法を伝えたり、獲得できるような助言や実践を行う。 ・SSTプログラムや自由遊びの中で、自分の思いが相手に伝わりにくい表現になったときに、スタッフが間に入り、思いを汲み取ったり確認しながら、相手に伝わりやすい表現を促したり示すことで、人間関係構築のスキルにつなげる。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様の子育てに関する困りごとに対して、協働して対応策を考える。 ・本人の発達状況や特性理解に向けた相談援助を実施する。 ・保護者会など、保護者交流の機会を提供する。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が地域の様々な場面で適切な支援を受けられるように、関係機関との連携を図り、ネットワークの構築を行う。 ・他のこども施設との併行利用や移行に向けた支援する。 ・併行利用先や学校等と連携を図り、障害特性に応じた一貫した支援を実施するための情報共有や協議を行う。 ・進学等のライフスタイルの変化を見据えた準備をご家族と協働して行う。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援センターや医療機関等、本人の支援に関わる保健・医療・福祉・教育・労働等の関係機関と連携する。 ・併行利用先や学校等と連携を図り、障害特性に応じた一貫した支援を実施するための協議や助言を行う。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定めた義務化研修（感染症対策研修、児童虐待防止・身体拘束適正化研修等）を実施し、職員の質の向上に努める。 ・社内研修を実施し、障害特性への理解を深めると共に、障害特性に応じたより良い対応方法を習得する。 ・必要に応じて職員を外部研修に派遣し、更なるスキルアップを目指す。 	
主な行事等	保護者会、親子フェスティバル、クリスマス会、夏の川遊び、秋の芋掘り、野外活動			